

術前ハーセプチン (トラスツズマブ) 療法

分子標的治療薬であるハーセプチンは、術後治療や再発治療でその地位を確立してきておりますが、術前治療での利用も検討されております。

タキサン系抗癌剤のパクリタキセルと FEC 療法とを組み合わせた術前化学療法で、さらにハーセプチンを併用する群と併用しない群で比較したところ、併用した群で 65%と高率に病理学的完全奏効(pCR)を認めております。

しかし、ハーセプチンの治療を術前と術後のどちらに行なうのが良いかという直接の比較はいまだなされておらず、ハーセプチンを早期から使用することが予後のどの程度影響を与えるのかなど、検討を要する項目が残されており、適応に関しては慎重に検討する必要があります。